

大いちょう

伊勢崎市立宮郷小学校
学校通信
令和3年6月25日発行

第2号

ギガール

1 「いせさきGIGAALスクール構想」はじまる

今年度から始まった「いせさきGIGAALスクール構想」。既に4年生から6年生までに整備されていたタブレットですが、ついに先日、1年生から3年生にも整備されました。子どもたちも「早く使いたい」と胸を膨らませているところです。

このタブレットの使用の目的は、児童一人一人が学校の中で授業を中心に様々な学習場面で使うことで、広く情報を集めたり、深く探求したりする学習活動を支え、学びをより豊かなものにすることです。これから本格的に、全学年で有効に活用していきたいと思えます。ちなみに、先日は5年生が体育の授業でこのタブレットを活用し、ハードルの練習を行っていました。自分の姿を動画に撮影し、課題を見つけたり改善せいたりすることに有効活用していました。

もちろん、タブレットを活用しながら授業を行う我々教師も、有効的な活用法を学ぶべく、様々な研修を行っています。

国語、算数、理科、社会、体育、英語、音楽、道徳、学活……。様々な教科、様々な場面で活用できるよう、学校全体での校内研修、情報部での研修、各学年研修、個人研修等で学んでいるところです。



【タブレット使う6年生】



【タブレットの研修を行う教職員】

2 「あいさつの宮小！！」



今年度、宮郷小のみなさんの雰囲気は昨年度に比べてパワーアップしたように感じます。特に「あいさつ」が活発に行われるようになり、朝からさわやかな「あいさつ」が交わされたり、廊下ですれ違う児童のみなさんから「こんにちは～」と、あいさつされることが多くなりました。本当に素晴らしいことだと思います。

なぜ、今年度はこの「あいさつ」が活発になったのでしょうか。いくつか理由があるかと思いますが、

一番の理由は宮郷小の一人一人の児童のみなさんの「あいさつ」に対する意識が向上してきているからでしょう。

また、もう一つの大きな理由として今年度から新設された「あいさつ委員会」のみなさんの活躍が大きいと思います。宮郷小のあいさつをもっともっと沢山の人が、大きな声で、さわやかにできるよう、「あいさつ委員会」のメンバーの人たちが日々頑張ってくれています。あいさつ委員会の人たちが、「おはようございます！ おはようございます！」と素晴らしい「手本」を示してくれるおかげで、宮郷小のみなさんの「あいさつ」に対する意識がぐ～んと高まってきています。

ありがとう、あいさつ委員会のみなさん。

これからも、宮郷小のみなさんが、常にさわやかな「あいさつ」を交わし、地域の人たちからも「あいさつの宮小！」と呼ばれるくらいの学校にしていきたいと思います。先生達も頑張りますので、一緒に頑張りましょう。



【あいさつ運動】

3 「学校評議員会の開催」

昨年度は、新型コロナの影響で「紙面開催」となっていた「学校評議員会」ですが、今年度は6月2日（水）に無事開催することができました。

当日は、委嘱状の交付、自己紹介、授業参観の後、学校長からの経営方針の説明、教務からの学校評価についての説明等をタブレットを活用して行わせていただきました。

授業参観をされた各評議員様からは、「授業が昔とは変わってきている。先生方が児童を本当に尊重している様子がわかった。」や「児童もしっかりと自己主張できている。立派だ。」など、様々なご意見やご感想もいただきました。ありがとうございました。



なお、今年度の学校評議員でお世話になるのは次の方々です。（順不同）

お名前	役職
木暮 直二 様	区長会（代表）稲荷町区長
久保田 幸子様	宮郷地区民生委員児童委員協議会民生委員
須田 育男 様	宮郷地区民生委員児童委員協議会主任児童委員
内山 進市 様	宮郷地区青少年育成推進員会 会長
原 佑典 様	宮郷小学校地区ボランティア団体会員
中島 祐子 様	宮郷地区子ども会育成会副会長
茂木 幹彦 様	宮郷公民館館長
諏訪 博昭 様	宮郷中学校校長
小長谷 里美様	宮郷幼稚園園長
松元 由貴子様	宮郷小学校PTA会長

